

視認性向上の昇降バー式

SFDD-20000series
昇降バー式ホーム柵

可動式ホーム柵と同様の高さ1.3mを実現。
さまざまな車両への対応が可能な、業界初の昇降バー式のホーム柵です。

開口部にバーを採用

開口部に上下方向に開閉するバーを採用したことにより、さまざまな開口幅を設定できます。従来のホーム柵では対応が困難な、扉間が狭い車両への対応が可能です。

軽量化

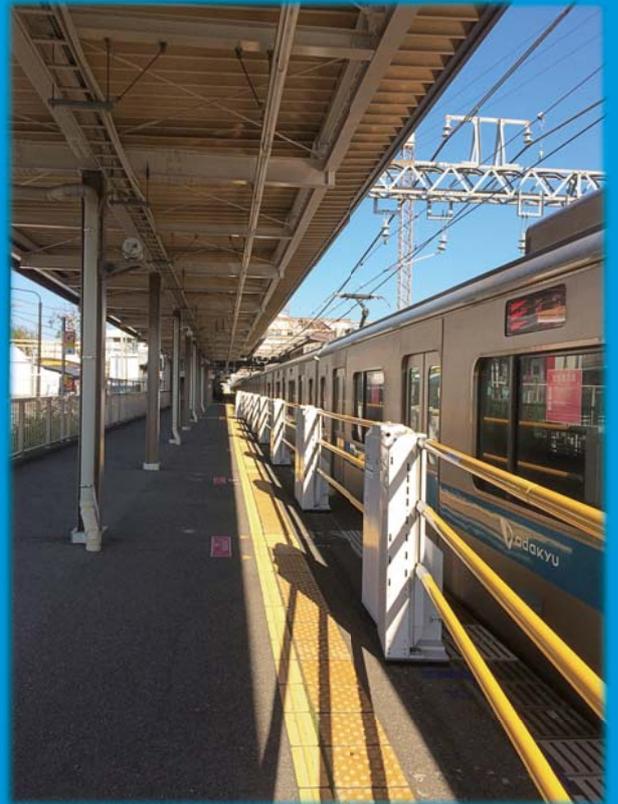
1開口約250kg以下の軽量化を実現。駅ホームへの負担を軽減し、従来のホーム柵の設置が困難な場所への設置も容易にしました。

駅ホームへの負担を軽減

開口部はバーを採用したことにより、風圧の影響をほとんど受けないため、駅ホームへの負担を軽減します。

コスト低減と設置工期短縮を実現

エレベーターに載せられるため、従来のホーム柵よりも搬入コストおよび設置コストを軽減。設置にかかる工期の短縮を図ることができます。



この製品は、国土交通省鉄道局の鉄道技術開発費補助金の支援を受けて開発をしています。
現在、小田急電鉄株式会社様のご協力を頂き、小田急線愛甲石田駅にて実証実験中(～2018年3月までを予定)です。

